



エコタイムズ



知っていましたか？ よく見かけるあのマークの意味、



街中や身の回りではいろんなマークを目にします。どんな意味でついているかご存じですか？なんとなく分かるようで実ははっきりとした意味を知らないものがほとんどかと思えます。それらは「認証マーク」と呼ばれ、商品やサービスの品質、性能、安全性などが確かであることに加えて「持続可能な食糧調達」「環境・社会的配慮」「生物の多様性」などにつながることを証明するマークです。認証マークは第三者機関によって審査され、各マークの安全性や品質、性能に関する基準を満たしたものについており、別名「認証ラベル」や「サステナブル・ラベル」とも呼ばれています。今回は、これらの一部取り上げてみます。

エコマーク



日本オリジナルの認証マークです。製造から使用、廃棄などに総合的に環境への負荷が少ないことや環境保全に役立つ商品につけられている。

STマーク



14歳以下の子ども向け玩具に付けられるマーク。安全面について注意深く作られたおもちゃ。「safety toy（セーフティー・トイ）」の頭文字。

グリーンマーク



原料の40%以上に古紙を利用した製品に表示される。紙のリサイクル促進を促す目的。ノート、トイレトペーパー、コピー用紙に表示されている。

リサイクルマーク

ダンボール



段ボールがリサイクル可能であることを示す。世界共通のマーク。分別、回収が容易にし、リサイクル促進が目的。

特定保健用食品マーク



健康増進などに役立つ成分があり、その安全性や有効性が科学的に検証され「血糖・血圧・血中のコレステロールなどを正常に保つことを助ける」「おなかの調子を整える」「骨の健康に役立つ」などの保健目的が期待される。

エコな時代

リユース・リサイクルが増えてきましたがその始まりは江戸時代まで遡ります。現代とは違い、ものが少なくもちろん電気もない時代です。着物も何度も修復し着回したり、落ちていた紙屑ですら燃料のため探して捨てる商人もいたそうです。物が限られているからこそ「もったいない精神」が生かされていました。

